

# 台湾MICEの魅力に迫る

MICEブランド「MEET TAIWAN」が台湾でのMICE開催を高次元に支援



台湾の経済部国際貿易局は2009年よりMICE産業の発展を積極的に推進するため、MICEブランドとして「MEET TAIWAN」というプログラムを制定し、国際MICEイベントの台湾への誘致に力を注いでいる。

台湾でのMICEイベント開催の強みとしては、斬新なデジタル・テクノロジーを導入したハードとソフト、専門的できめ細かい配慮ができるDMCとDMO、多様な文化交流とおもてなし、台湾ならではのサステナビリティ精神によるMICEイベントのサプライチェーン、SDGs達成が可能なMICEディスティネーションとしての台湾の取り組み、そしてMICEイベントに連動する豊富な観光資源などがある。



今回の取材では、台北・台南・高雄の3エリアを訪問した

驚きを与えるためのMICE開催にあたって「MEET TAIWAN」では、①目にするのは「造物主の筆によって生み出された壮大な大自然と、台湾文明の絢爛な軌跡」、②嗅ぐのは「自然によって醸し出される芳醇な香りと、探究心を誘う魅惑的な香り」、③味わうのは「味覚を刺激する絶品の料理と、長く受け継がれてきた文化の饗宴」、④耳にするのは「時を超えた多様性が奏でるアンサンブルと、時空を超えた積極的な対話」、⑤迎え入れるのは「世界各地から集まる最新の知識と、エリートたちとの交流で作る理想のネットワーク」、⑥切り開くのは「異業種との提携と、無限の可能性を持った商機」などをテーマに想像を上回るMICEイベントを提供していくとしている。

台湾は、1895年から1945年までの50年間にわたり日本に統治された歴史があり、統治時代に日本が建設した巨大な工場や倉庫、文化施設などが台湾国内には点在している。それらの場所が今では展示会場や会議施設、コンサート会場、パーティー会場など、MICEで利用できる施設に変貌を遂げている。今回はそれらの施設も含め取材した。

## MICE施設

### ■松山文創園區



松山文創園區は煙草工場を再利用したMICE施設で、通路には美しいデザインが施されている

かつての煙草工場だった敷地を利用して建設されたのが「松山文創園區 (Songshan Cultural and Creative Park)」である。6.6ヘクタールの広大な敷地内には、1937年の日本統治時代に建てられた「台湾総統府専売局松山タバコ工場」の事務所棟や工場、倉庫、風呂場などをリニューアルした、展示スペースや会議などにも利用できるユーティリティスペースが数多く用意されている。

2001年に台北市政府により第99番目の「市の史跡」に指定されており、リ



元風呂場を改装したミーティングスペース



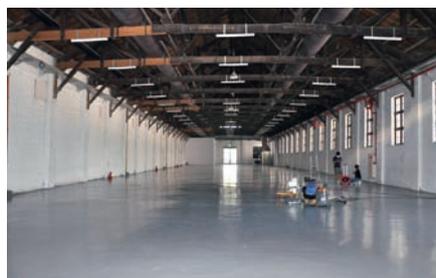
ミーティングスペースに接続したパーティーも可能な会場



展示が伴うMICEイベントに適した会場。備え付けの展示台などは自由に使える



大きな木製展示台を備えたイベントスペース



自由度が高い展示会場も用意されている

ニューアルにあたっては当時の資材にできるだけ近い材料を利用し、日本の初期モダニズム建築を継承する建造物を実現させている。台北101に近い信義エリアにある国父紀念館前という都会の真ん中にありながら、緑に囲まれた癒しの空間となっている。

利用部分やスペースによって使用料は異なるが、どれもかなりリーズナブルな料金で借りられる。屋外スペースを利用したパーティーやイベントも実施可能で、元機械修理工場だった場所には軽食レストランなどもある。レンガ・ガラス・銅釘が精細に施された風格のある日本の古き建造物を利用した松山文創園區なら特別感を醸し出すMICEイベントが実現できる。



松山文創園區にはAll Gender用トイレがある

▽「松山文創園區」公式サイト

<https://www.songshanculturalpark.org/>

## MICE施設

### ■瓶蓋工場台北製造所



モダンなイメージの瓶蓋工場台北製造所の正面玄関

展示会や会議、パーティーなどで利用できる文化的複合施設が「瓶蓋工場台北製造所 (POPOP TAIPEI)」である。日本統治時代の1943年に設立された「国内コルク工業株式会社」がその前身で、戦後も「台湾タバコアルコ



長さ約6mの木製テーブルが4台用意されたミーティングスペース。テーブルは移動式で繋げると全長25mの1本テーブルになる



天井に檜材を利用した展示会場。展示会のほかパーティーなどにも使用されている



屋外スペースも利用可能で展示スペースと連動したイベントの開催も可能になっている

ール公売局ボトルキャップ工場」として2004年まで稼働していた。2018年に「南港キャップファクトリー歴史的建造物と保存された建物の改修プロジェクト」が実施され、同施設は2020年に正式オープンしている。

屋根にヒノキ材を使用した倉庫や吹き抜け構造の工場、デザイン性に優れる天窓など昭和時代の日本建築が色濃く残されている。工場だった6棟の建物は、現在それぞれテーマ館となっており、屋外スペースなどのイベントスペースも含め利用できる。

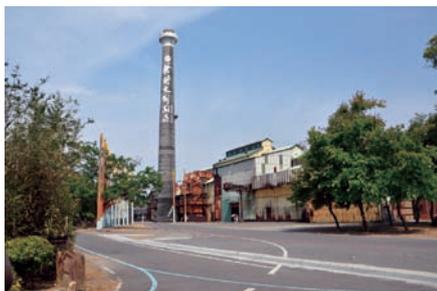
台北市内のメイン駅のひとつである「南港」駅から近く、徒歩でも移動できる距離にある。経営陣は、30年近いMICE業界での事業実績を持つプレインスター展示グループで、イベント開催時には経験豊富なスタッフが協力する形が構築されている。

▽「POPOP TAIPEI」公式サイト  
<https://www.poppotaipei.com/>

## MICE施設

### ■R23糖倉会展中心

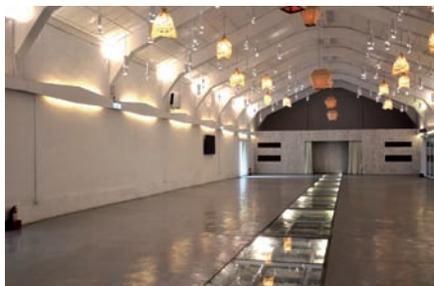
100年程前に日本が建設した砂糖工場と砂糖倉庫の跡地を利用してオープンさせたイベント施設が台湾南部の高雄市橋頭区にある「R23糖倉会展中心（R23砂糖倉庫コンベンションアンドエキシビジョンセンター）」である。「古いものを保存し、革新する」という概念の元、廃



広大な敷地を持つ元砂糖工場を再利用したR23糖倉会展中心。工場の煙突も当時のまま残されている



会場を結ぶ通路。施設内には5本の通路があり、その左右に大小様々な会議施設が用意されている



会議や講演会のほか、結婚式会場にも利用できる会場が多数ある

止されていた砂糖倉庫の歴史的な外観を保存しつつ2022年にオープンしている。

施設内の広大な敷地内には、倉庫を改修した展示会や会議などに利用できる1,000人から120人収容までの大小様々なイベントスペースが数多く点在している。また、工場棟には劇場スタイルのスペースも用意されているほか、広大な屋外スペースを利用すれば、3,000人を超える屋外パーティーも可能である。これまでに、商品展示会、芸術文化展示会、講演会、研究発表、企業教育訓練、シンポジウム、各種プレゼンテーション、結婚式場など幅広いイベントに利用されている。



工場棟にある劇場型のイベントスペース。表彰式などに利用すれば印象深いイベントが実現できる



MICE イベントで利用できそうなバーカウンター付きの会場もある



広大な会場移動に利用できるミニ列車の運行も可能である



運営スタッフ用の宿泊施設も用意されている

各会場を繋ぐ中央通路は5本あり、そのどれもが文化的で創造的な空間をテーマとした設計となっている。また、要望に応じて参加者移動に利用できるミニ列車の運行にも対応している。さらに、施設内にはリーズナブルな料金

で宿泊ができる運営スタッフ専用の宿泊所も用意されている。

日本ではまだまだあまり紹介されていない施設だが、高雄でのMICEイベントを計画するのであれば同施設を検討すべきであろう。

▽「R23糖倉会展中心」公式サイト

<https://tendrum.com.tw/TpHome/ct>

## 展示会場

### ■南港展覽館

交通至便な台北市南港区に位置する大規模展示会場が「台北世界貿易センター南港展覽館（台北世界貿易中心南港展覽館／Taipei Nangang Exhibition Center = TaiNEX）」である。

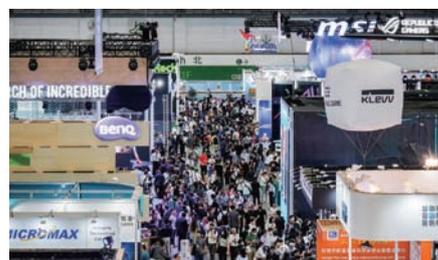
TaiNEXは1号館と2号館に分かれており、1号館は台湾初の大型2層構造展示ホールとして2008年3月にオープンしている。また、道路を挟んだすぐ前

の2号館は2019年3月に運営を開始している。TaiNEX1号館の1Fと4Fには、3分割利用が可能な各22,680㎡の展示ホールが用意されている。また、5Fと6Fには分割利用により多目的な利用が可能な会議室がある。TaiNEX2号館の1Fと4Fにも、3分割利用が可能な各15,120㎡の展示ホールが設定され、7Fには多目的に利用できる2,798㎡のSky Galleryが用意されている。

TaiNEXの1号館と2号館を合わせた展示スペースは合計で75,600㎡となり大規模展示会のほか、同種展示会の同時開催も可能となっている。また、台北101に隣接する信義地区の展示会場「台北世界貿易センター（TWTC）」から車で約15分程で、TWTCと連動させた展示会開催も実現できる。展示会のほか、規模の大きなMICE関連のイベントにもTaiNEXなら対応できる。なお、世界科技産業の一大イベント「2023年台北国際コンピュータ展



各種の会議場も多数用意されている



TaiNEXの全館を利用して盛大に開催された「COMPUTEX 2023」

「COMPUTEX 2023」が5月30日から6月2日まで、TaiNEXの1号館と2号館の展示ホールで盛大に開催された。

▽「TaiNEX」公式サイト

<https://www.tainex.com.tw>

## 展示会場

### ■大台南会展中心

2022年4月21日にオープンした複合型コンベンションセンター「大台南会展中心（ICC TAINAN）」は、台湾高速鉄道（Taiwan High Speed Rail = THSR）台南駅から徒歩約5分の場所にある交通アクセスに優れた展示会場である。5.2ヘクタールの敷地に総工費20億台湾元を投じて建設されたICC TAINANは、大航海時代からの有名な貿易港エリアに位置しており、古代からの名所や半導体ビジネス関連企業に囲まれている。

1FのExhibition Centerは、長さ132m×幅81m×高さ12mで展示面積は10,692㎡あり、東展示場と西展示場の2



台湾初の大型2層構造展示ホールとして2008年3月オープンの南港展覽館1号館。数多くの展示会が開催されている



1号館のすぐ前には2019年3月に運営を開始した南港展覽館2号館がある。両館を利用した大規模展示会も対応可能である



台湾高速鉄道「台南駅」から徒歩5分の場所にある複合型コンベンションセンター「大台南会展中心 (ICC TAINAN)」



高さのある搬入口を備えた展示ホール



各種のMICE イベントに対応可能な会議スペース  
分割に分けての使用も可能だ。収容小間(3m×3m)数は各300小間の計600小間で、展示会やコンサート、授賞式、宴会などの大規模イベントに最適なスペースとなっている。また、幅、高さともに大きく設定された搬入口は合計3カ所ある。

Convention Centerとしての会議室は、3Fに4分割での利用も可能なシアター1,000人収容の1,080㎡が1室と、2分割利用ができシアター800人収容の810㎡が1室ある。また、1Fには100人対応の135㎡が5室と、20人対応の52㎡



ICC TAINANは大型コンサートなどでも利用されているが3室用意されている。

少ない費用と短工期により建設されたICC TAINANは、環境保全にも貢献している。その他、広大な敷地を確保していることから今後の増床にも対応できる。

台南駅前には大型商業施設の三井アウトレットパーク台南があり、MICE イベント実施時で同パークを連動させた効果的な開催も可能となっている。

▽「ICC TAINAN」公式サイト

<https://www.icctainan.com>



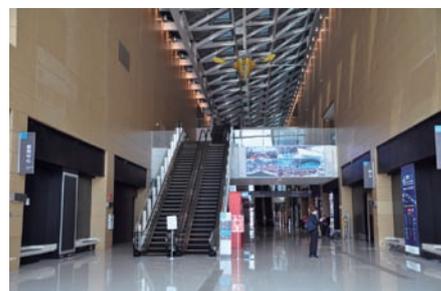
台湾高雄市前鎮区にある国際コンベンション・センターが「高雄展覽館 (Kaohsiung Exhibition Center =

KEC)」である。熱線反射ガラスを採用しウォーターフロントに建てられたその美しい造形美は世界的にも高く評価されている。

1Fセンター通路の左右に展示ホールがあり、上層階には各種の会議室が用意されている。メイン展示場となる無柱の南ホールは9,100㎡で520小間が収容可能で天井高は最大部で27mある。南ホールの搬入口は12m×12mと巨大で、このゆとりあるスペースと搬入出の利便性を利用して、高雄国際海事船舶及び国防工業展 (Kaohsiung International Maritime and Defense Industry Expo) や台湾国際ボート見本市 (Taiwan International Boat Show) など大型展示物が出展する展示会も定期開催されている。また、北ホールは8,800㎡500小間の規模で、両ホールを合わせた大規模展示会も数多く開催されている。さらに、屋外スペースとして7,200㎡の「Waterfront Plaza」が用意されており、展示会やMICEイベントでの屋内・屋外連動利用も可能とな



美しい建築美を誇る高雄展覽館 (KEC) の正面入口



エントランスも広く展示会開催の使い勝手に優れている



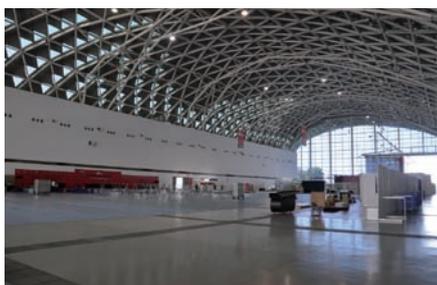
会場前のスペースも広くオープニングなどに利用できる



高雄湊のウォーターフロントに建つ高雄展覽館の美しい造形美は世界的にも高く評価されている



定期開催されている台湾国際ポート見本市。会場の目の前でフローティング展示も行われている



巨大な開口部がある搬入口はボートなどの大型展示物にも対応可能である

っている。

Convention Centerとしての会議室は、シアター 2,000人収容の大規模ホール、シアター 800人収容で2分割利用が可能な中規模ホール、シアター 800人収容の「Oceanview Banquet Room」、その他、20～40人収容の小規模ホールが10室ある。これらの会議室を利用すれば、最大4,000人規模の会合も実

現できる。

KECから徒歩15分以内の圏内には、Kaohsiung Marriott Hotel、Inter Continental Kaohsiung、TAI Urban Resortなどをはじめとする数々の5つ星ホテルも点在している。利便性が高く美しい環境に立地する多機能なKECは、MICEイベントを成功に導く施設のひとつである。

▽「KEC」公式サイト

<https://www.kecc.com.tw/>

### ユニークベニュー

#### ■圓山大飯店

台北市中山区の北の高台に建つ台湾で最も有名なホテルが「圓山大飯店 (THE GRAND HOTEL)」である。1952年に蒋介石夫人の宋美齡によって建てられた台湾初の5つ星ホテルで、圓山の中腹に高く聳え、前方は基隆河、後方は陽明山、東は松山、西は淡水が一望できる。圓山大飯店は、台北市を代



台北を代表するランドマークでもある圓山大飯店

KECがある台湾高雄市の高雄港北部一帯のウォーターフロントエリアが「垂洲新湾区 (アジア新湾区)」である。総面積587ヘクタールのこのエリアには、駅でのキャパシタ充電方式を採用した「高雄ライトレール水岸線」が走り、奇抜な形をしたモダンなビルが立ち並び、MICEでも使えるデザイナーズレストランも数多くある。もはやこの一帯すべてがMICEエリアだと言ってもいいだろう。



高雄港北部一帯のウォーターフロントエリアが垂洲新湾区 (アジア新湾区) でMICEで利用できるデザイナーズレストランも数多くある



圓山大飯店には豪華なパーティー会場をはじめシアターや大小様々な会議室が用意されている

表するランドマークのひとつともなっている。

14階建て中国宮殿様式の同ホテルのゲストルームは500室ある。会議施設としては、本館12階に11mの天井高を誇る大ホールと中ホール、10階とV階に多目的に利用できる大小様々な各種ホール、そして別館にも会議で利用できる多くのホールが用意されている。これまでに、国際会議をはじめとする数多くのMICEイベントに利用されている。

圓山大飯店には外に通じる「秘密のトンネル」が西と東にある。2021年3月に一般公開（西側は2019年に公開）された東側の秘密のトンネルを抜けた先には、美しい花々が咲く秘密の花園があり小規模のパーティーに利用できる。さらに、その先には圓山大飯店の初代総経理だった孔令偉の記念館「孔二小姐故居」がある。ここには驚きの重要文物が展示されている。この部分は、ユニークベニューとしてのMICEイベントとして利用できるエリアである。

▽「圓山大飯店」公式サイト

<https://www.grand-hotel.org/JP/index.aspx>



北投温泉博物館はMICEで使えるユニークベニューである



当時の公共浴場の雰囲気を再現した大広間の畳ホール

台北市北投区の北投公園内にある歴史的建物が「北投温泉博物館」である。

1913年に当時の台北庁長だった井村大吉の発案により、日本の静岡県伊豆山温泉を模し、東南アジア最大の公共浴場となる北投温泉公共浴場を建設したことにはじまる。戦後、荒廃した公共浴場を守ろうと北投小学校の教師と児童たちが陳情書を書き、それが切っ掛けとなり1998年に北投温泉博物館が設立されている。台湾で初めて地元住民の力によって保存された古跡として、北投温泉博物館は北投文化のシンボルともなっている。

博物館は2階建てで、1階はレンガ造り、2階は木造で構築されている。外観は「和洋折衷」を基調とし、1階が沐浴空間、2階が休憩空間となっている。実際に入浴することはできないが、当時の公共浴場の雰囲気にもふれながら、2階にある大広間の畳ホールで涼んだり、展望テラスに出て北投溪沿岸の美しい風景を楽しむことができる。

MRT 淡水線の「新北投駅」から徒歩約10分以内の距離で交通アクセスもいい。博物館全体を貸し切れることも可能なので、ユニークベニューとしてのMICEイベントで活用することができる。

▽「北投温泉博物館」公式サイト

<https://hotspringmuseum.taipei/>



著名なドキュメンタリー監督の功績を称えオープンした齊柏林空間では巨大なスクリーンに投影される迫力の空撮映像が楽しめる

台湾の著名なドキュメンタリー監督、チー・ポーリン（齊柏林）氏の作品や業績を紹介する資料館として2019年にオープンしたミュージアムが「齊柏林空間（Chi Po-lin Museum）」である。台湾北部の新北市淡水区に位置する齊柏林空間は、台北市内からアクセ

スしやすい淡水駅から徒歩20分程の場所にある。

台湾の花蓮で空撮中だった齊柏林監督は、2017年6月10日、原因不明のヘリコプター墜落事故によりアシスタントと操縦士とともにこの世を去っている。監督の死後、彼の友人や家族、支持者たちによって「財団法人看見・齊柏林基金會」が設立され、日本統治時代の歴史的建築の中に作られたのが齊柏林空間である。

台湾をはじめとする大自然を高解像度カメラによる空撮映像で収めてきた齊柏林監督が伝えたかったことは、美しい自然を削り、壊し続ける環境破壊の現実である。美しい空撮映像が流れる資料館内には、アメリカから輸入した70万米ドルの空撮用カメラのほか、墜落事故で破損した撮影機材なども展示されている。

この資料館をMICEイベントで活用することも可能であろう。特に、環境保全関連のイベントの実施ではユニークベニューとしての利用価値は高い。

▽「齊柏林空間」公式サイト

<https://www.chipolin.org/chipolin-space>

今回紹介した台湾内のMICE関連施設はその一部である。台湾には紹介したい魅力的なMICE関連施設がまだまだある。

さらに、台湾では、Open Armsが日本のMICEイベントを迎える準備をすでに整えている。専門性が非常に高いDMCとDMOがあるほか、イベントの開催にあたってはMEET TAIWANからの手厚い補助もある。

安全・安心、そしてクリーンな国、台湾でのMICEイベントは必ず大きな開催価値を生むものと思われる。ぜひとも、台湾でのMICE事業を検討していただきたい。

なお、MEET TAIWANの公式サイトに台湾MICEの詳細情報が掲載されているので、一度サイトを訪問してみたいかがだろう。

▽「MEET TAIWAN」公式サイト

<https://www.meettaiwan.com/ja/>